

2023 年度第 11 回価格審査会の開催について

2023 年度第 11 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2024 年 2 月 15 日(月) 10:00~12:00
場 所	本部 6F 大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 栞原 圭一 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長 辻 保人 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリnz・テクリスセンター長 早川 和利 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：島田 理久 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲

2023 年度第 10 回価格審査会議事録(案) 確認

2023 年度第 11 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」3月号、「Web 建設物価」3月号の価格動向</p> <ul style="list-style-type: none">・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 レディーミクストコンクリート（青森市ほか 19 都市）、道路用砕石類（北秋田 B 地区（旧森吉町）ほか 16 都市）、再生砕石類（由利本荘 A 地区（旧本荘市）ほか 4 都市）、PHC パイル（青森市ほか 5 都市）、アスファルト混合物（仙台市ほか 15 都市）、コンクリート積みブロック（滑面）（青森市）、燃料油（札幌市ほか 9 都市）、鉄スクラップ（札幌市ほか 42 都市）、非鉄スクラップ（札幌市ほか 9 都市）ほか。・価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 再生砕石類（土浦市ほか 22 都市）、アスファルト混合物（さいたま市ほか 11 都市）、燃料油（札幌市ほか 18 都市）、非鉄スクラップ（札幌市ほか 7 都市）ほか。 <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none">・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	当月の電線価格は横ばいだったが、電線メーカーが停止していた新規受注を再開したことで、新規受注分からは需給ひっ迫を受けた値上げ価格は解消されるのか。	一部の電線メーカーでは新規受注を受付したが、全メーカーでの受注再開には至っておらず、依然として需給はひっ迫している。しかしながら、電線は銅建値を基準とした値付けで価格が変動しているため、供給不足に起因した価格上伸はしておらず当月は横ばいとなっている。
質問 2	国内の原木価格が上伸している中で、掲載の管柱価格が変動していない理由は何か。	国内の原木価格は上伸してきているが、需要は低迷しており、管柱等の製材価格に今回の原木価格の上伸分がたちまち反映されるものではない。また、製材価格は樹種により需要の高低があるため、管柱の中でも原木が国産材か輸入材かで価格動向が異なっていることも要因となっている。
質問 3	一部の都市でセメント（袋）が値上がりしている一方、セメント（バラ）は横ばいとなっている。値動きが異なる理由は何か。	セメント（袋）とセメント（バラ）では流通形態が大きく異なっていることが要因となっている。その資材特性から、価格変動時はバラ物の価格が動いてから、袋物の価格が動く傾向がみられる。バラも袋も地場性が強く、地区ごとの価格交渉で取引価格が決定される。今回、価格上伸した地区は、それ以前のバラ物価格の上伸を受けて価格交渉が進展した結果である。
質問 4	令和 6 年能登半島地震の被災地において、レディーミクストコンクリートの価格が輪島地区で上伸したが、七尾地区は横ばいとなっている。どちらもプラント被災により供給が制限されているなかで、なぜ価格動向に違いがあるのか。	七尾地区は地区内に稼働しているプラントがあり一定の供給力がある。一方、輪島地区は地区内プラントからの供給が困難な状況のため、他地区からの持ち込みとなり運搬費分が加算されて大幅値上げとなった。
質問 5	針葉樹等の多くの樹種が北海道と沖縄地区を除いて上伸し「生産費用及び輸送コストの増加」が理由であると補足コメントにある。北海道と沖縄地区では生産費用や運搬費は値上がりしていないのか。	北海道と沖縄地区でも生産費用及び運搬費の値上がりは本州同様の状況にあるが、流通樹種が本州とは異なるため別樹種を掲載している。現状では値上がりには至っていないという状況である。
質問 6	北海道地区の燃料油（灯油）が値上がりし「季節的な需要増加に伴い上伸」が理由と補足コメントがある。これは毎年の傾向なのか。	燃料油全体の価格動向によるが、北海道地区での冬場の燃料油（灯油）は値上がりしやすい傾向が見られる。

質問 7	東京 23 区の価格掲載を再生砕石では「東京 17 区」「東京 6 区」と 2 分割し、レディーミクストコンクリートでは「東京 17 区」「目黒・世田谷」「練馬・板橋」「足立・葛飾」と 4 分割している。どのような違いなのか。	価格の動きが異なる地区単位に分割して掲載している。レディーミクストコンクリートの場合は協同組合の商圏範囲となる場合が多い。
質問 8	再生アスファルト混合物値下がりの主要因は「主な原材料であるストレートアスファルトの下落」と説明コメントがあった。ストレートアスファルトの値下がり全国的な状況であるが、なぜ南関東地区だけが下落しているのか。	再生アスファルト混合物の南関東地区の市場環境は、需要も多いが、競合メーカー数が他地区と比較して目立って多い地区であるため、競争激化によって下落したという状況である。
質問 9	令和 6 年能登半島地震における被災地区（輪島）のコンクリート砕石の価格欄について、イタリック体数字から「…」に変更になっている。その理由は何か。	コンクリート用砕石の主な需要家であるレディーミクストコンクリートメーカーのプラントが被災し稼働していないことから、大口数量の取引が確認できない状態が継続したため「…」とした。
質問 10	再生砕石（東京 17 区）について、廃材発生量が製品出荷量を上回る状況ということだが、今後廃材発生量と製品出荷量の均衡を図るような動きがあるのか、見通しを伺いたい。	再生砕石は、建設リサイクル法が制定されたことにより積極的な利用が推奨されている。しかし、近年は建物の解体工事が進み、廃材発生量が増加傾向にあることから、メーカーの過剰在庫状態が継続している。新たに均衡を図るような施策は見られない。
質問 11	セメントについて、「メーカー各社は、カーボンニュートラルを見据えた設備投資の費用確保を唱え」とあるが、メーカーは具体的にどのように費用を確保していく意向なのか。	現在のところ具体的な取り組みは見られないが、製造過程における大量の CO2 排出を抑制させるための設備投資に備え、利益を確保したいという意向を示している。
質問 12	令和 6 年能登半島地震の被災地区のレディーミクストコンクリート工場のうち、現在でも稼働できていない工場があるようだが、今後の復旧する見込みについてはどうか。	能登半島北部の被害が大きかった地区では、復旧する見込みが立っていない工場が複数存在する。
質問 13	「視覚障害者用誘導ブロック（コンクリート製）」東京都 23 区の変動率が高い背景を伺いたい。	「視覚障害者用誘導ブロック（コンクリート製）」東京都 23 区の大幅な値上がりは、原材料のセメント価格の近年の大幅な上昇や輸送コストの上昇が主な要因である。
審議結果	「建設物価」3 月号、「Web 建設物価」3 月号の価格動向に問題はなかった。	